

単元名	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう	配当時間	16時間
単元の目標	(1) 事典の使い方を理解して使うとともに、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 (2) 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約するとともに、内容の中心を明確にして文章の構成を考え、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き方を工夫することができる。 (3) 中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりして、調べて分かったことをまとめて書こうとする。		

## 標準的な展開例

04010210\_001

【教材名】世界にほこる和紙／【じょうほう】百科事典での調べ方／伝統工芸のよさを伝えよう (下 P. 43～P. 57)

【準備等】原稿用紙、知多の友、リーフレットの見本、リーフレットの用紙、百科事典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。  <b>★</b>中心となる語や文を見付けて要約し、調べたことを書こう。          ○教科書 (P. 43) を読み、伝統工芸や和紙に対するイメージを広げる。          ○学習課題や内容を知る。          ○「世界にほこる和紙」を読み、初発の感想を書く。</p> <p>2～5 「世界にほこる和紙」を読み、要約する。  <b>★</b>中心となる語や文を見付けて要約しよう。          ○文章全体の組み立てについて考える。</p> <p>○筆者の考えの理由を大まかに捉え、「中」を二つのまとりに分ける。          ・和紙のもつよさ          ・使う紙を選ぶ気持ち          ○「中」に書かれている例についてまとめる。</p> <p>○「初めー中ー終わり」のまとまりごとに、中心となる語や文を書き出す。          ○「世界にほこる和紙」を200字以内で要約する。</p> <p>○要約した文章を読み合う。</p> <p>6～7 伝統工芸に関する本を読み、伝統工芸のよさが書かれていると思う部分を中心に要約する。  <b>★</b>伝統工芸についての本を読み、要約しよう。          ○教科書 (P. 52) 「百科事典での調べ方」を読み、百科事典での調べ方を確かめる。</p> <p>○伝統工芸に関する本を読み、よさが書かれている部分を要約する。          ・織物 ・扇子          ・陶磁器 ・竹工品          ・漆器 ・和楽器 など          ○要約した文章を読み合い、要約の仕方や伝統工芸品のよさについて感じたことを伝え合う。</p> <p>8 伝統工芸についてのリーフレットを作る見通しをもち、調べたいものを決める。  <b>★</b>伝統工芸のよさを伝えるリーフレットを作ろう。          ○学習の見通しをもつ。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・伝統工芸について調べ、リーフレットを作ること知らせる。          ・範読を聞きながら、段落番号を記入させ、10の段落があることを確かめさせる。</p> <p>・段落番号を確認し、全体を「初めー中ー終わり」に分ける。  <b>【評】</b>文章の組み立てについて考える活動を通して、段落の役割について理解する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書 (P. 50) ノートの例を参考にするとい。          ・何を説明するために、どのような例を挙げているかを考えさせる。          ・教科書 (P. 50) を参考にする。</p> <p>・中心となる語や文を使うことを知らせる。          ・教科書上 (P. 86) 「要約するとき」を再確認するとよい。          ・まず目のある紙を用意し、二百字を意識しながら書かせるとよい。  <b>【評】</b>中心となる語や文を見付けて要約する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          ・要約の仕方について気付いたことを伝え合わせる。</p> <p>・見出し語が載っている巻を探し、「柱」や「つめ」を手がかりにして調べるとよいことを押さえる。  <b>【評】</b>事典の使い方を理解して使う活動を通して、「知識・技能」を評価する。          ・本を探すことが難しい児童には、個別支援をする。似た内容の児童とグループを組んでもよい。  <b>【評】</b>目的を意識して要約する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          ・教科書 (P. 51) 「たいせつ」で学習を振り返る。</p> <p>・知多の友 (P. 40～41) や教科書 (P. 56～57) のリーフレットの例を見せ、どのようなものを作るか見通しをもたせる。</p>

- 身近な地域にどのような伝統工芸があるかについて話し合い、調べたいことを決める。
- 9～10 選んだ伝統工芸について詳しく調べ、分かったことを書き出す。
- ★くわしく調べて整理しよう。
- 選んだ伝統工芸についての本を読む。
  
- 調べたことを整理する。
  
- 11～12 組み立てと資料の使い方を考える。
- ★組み立てと資料の使い方を考えよう。
- リーフレットの書き方を知る。
  
- どんな組み立てにするか考える。
  
- 写真や絵などをどのように使うか考える。
- 13～15 考えた組み立てに沿って説明する文章を書き、読み合う。
- ★説明する文章を書いて完成させ、読み合おう。
- 説明する文章を書く。
  
- 書いた文章を推敲する。
- 表紙や裏表紙を作り、リーフレットを仕上げる。
- 完成したリーフレットを読み合い、分かりやすく書けているところを伝え合う。
- 16 学習を振り返る。
- 「ふりかえろう」で単元の学習を振り返る。

- ・知多の友（P. 34）の学習の手順を読み、学習の計画を立てる。
- ・知多の友（P. 35）を活用する。
  
- ・あらかじめ伝統工芸についての資料の所在を確認しておく。
- ・教科書（P. 54）「目的におうじた資料の選び方」を参考に、本や資料を探させるとよい。
- ・知多の友（P. 35）を活用する。
- ・教科書（P. 54）「よさについてまとめた例」を参考にするとよい。
  
- ・教科書（P. 56～57）「リーフレットの例」を参照させる。
- ・資料の使い方、参考図書の示し方等を押さえる。
- ・先行の「パンフレットを読もう」を想起させ組み立てや写真に対応する説明の文章を考えさせるようにしたい。
- ・教科書（P. 55）「組み立ての例」を参考にさせる。
- ・知多の友（P. 35）を活用する。
- 【評】説明文の書かれ方の工夫を取り入れながら組み立てを考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
  
- ・知多の友（P. 36～37）を活用する。
- ・参考にした本は出典として、文の終わりに書かせる。
- 【評】伝統工芸について説明する文章を書く活動を通して、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして書く「思考・判断・表現」を評価する。
- ・知多の友（P. 38）を活用する。
  
- ・クラスへ発表する、グループで読み合うなどクラスの実態に応じて行うとよい。
- ・知多の友（P. 39）を活用する。
  
- ・「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。

## 【 備 考 】